

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第8回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的審議事項（公開）

- 1) 情報交換会の内容について
- 2) 分科会からの報告内容について

3 開催日時

令和4年11月15日（火）午後6時30分から午後7時26分まで

4 開催場所

上越市市民プラザ 第2会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：市川 優、太田一巳（会長）、岡本重孝、白濱昭博、田中裕子（副会長）
谷 健一、藤田晴子、本多俊雄、丸山佳子、山田 孝、吉田 実（副会長）
吉田義昭、渡部康子、渡部忠行（欠席3人）

- ・事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【藤井係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【太田会長】

- ・挨拶

【藤井係長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務

めることを報告

【太田会長】

- ・会議録の確認：渡部委員に依頼

次第3 議題「(1) 自主的審議事項」の「1) 情報交換会の内容について」に入る。
事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・資料1、資料2により説明

【太田会長】

今ほどの説明に質疑を求める。

【丸山委員】

当初の計画では3グループに分けることになっていたと思う。どのように町内会長を含めた3グループに分け意見交換するのか。

【藤井係長】

当初はそのように考えていたが、その後、全体でまとまって話した方がよいということになった。そのため地域協議会の各分科会から報告、提案していただいた後に、意見交換の時間を少し作る。今は3グループに分かれての協議を予定していない。

【太田会長】

「地域協議会について②」の「(2) 諮問答申」にある「つちはし保育園及び春日保育園の廃止について」は民間移行に関する諮問答申であったが、町内会長には保育園廃止についての内容と取られるかもしれない。

【藤井係長】

文言は諮問のタイトルなので変えることはできないが、説明の付加や入れ替えはできるかもしれない。意見を踏まえ対応を少し考えたいと思う。

【太田会長】

タイトルはこのままにして、市側は民間移行に伴い廃止になることを説明するフォローが必要だと思う。どのような形で説明していくかは、事務局から進めてもらえればよい。

【藤井係長】

事務局からの説明後に、各分科会からパワーポイントをもとに説明していただく。

その他に手元資料として、共通様式の鑑文書と3つに分けた資料を添付している。こ

これは報告の趣旨を分かりやすく統一的に、町内会長へ見せるため添付したもので了解いただきたい。

【太田会長】

事務局より説明のとおり、進めてよいか。

(よしの声)

以上で次第3 議題「(1) 自主的審議事項」の「1) 情報交換会の内容について」を終了する。

次に次第3 議題「(1) 自主的審議事項」の「2) 分科会からの報告内容について」に入る。

各分科会より報告・提案願う。

【吉田副会長】

・観光分科会について、資料に基づき説明

【太田会長】

観光分科会の説明に質疑を求める。

【市川委員】

今の説明には、春日山城跡保存整備促進協議会の活動と重複する部分が多くある。協議会との兼ね合いはどうなっているか。

協議会ではかなり精力的に活動しているので、連携した方がよいのではないか。

【吉田副会長】

当初のスケジュールでは、町内会長連絡協議会と情報交換をした後、春日山城跡保存整備促進協議会との情報交換する予定であるが、まだそこまで至っていない。議論する内容を決めてから情報交換するつもりである。

【市川委員】

お互いに地域の宝である春日城を何とかしようとする取組んでいる。地域協議会だけでは出来ることと出来ないことがあるため、協力できるものは協力して行って同じ考えで進んでいくことが、これからの観光分科会にとって一番いい方法だと思う。

【吉田副会長】

今後は、関係する団体として観光コンベンション協会とも協議していきたいと思う。

【市川委員】

町内会長のほぼ全員が春日山城跡保存整備促進協議会に所属していることから、情報

交換会では質問が出ることを前提に準備を進めた方がよいと思う。

【渡部委員】

まず、10月28日に朱鷺メッセで「クールジャパンエキスポ・イン新潟」が開催され、上越市は春日城跡や上杉謙信を相当PRしたらしい。そういうプロモーション等を、できれば参考のため、ビデオでもあれば見せていただきたい。

そして、市川委員の発言に答える立場ではないが、基本的には春日山城跡保存整備促進協議会も、我々も目指すことは同じである。敵対しているわけではないので、全然問題ないと思う。

ただ、春日山城跡保存整備促進協議会が、市役所と講習会を行う際には、ぜひ地域協議会も参加させていただきたいと思う。少なくとも観光分科会の委員には声をかけてほしい。個別ではなく一緒にやっていけばよいと思う。

【太田会長】

春日地区には同じ目標をもつ団体がたくさんあると思う。目的を共有し、一緒に活動するための情報交換会になればよいと思う。

他に意見はあるか。

観光分科会については、説明のとおり決定事項ではなくて、このような思いがあるという経過報告の形になると思う。

次に安全・安心分科会の説明を求める。

【本多委員】

- ・安全・安心分科会について、資料に基づき説明

【太田会長】

安全・安心分科会の説明に質疑を求める。

【吉田副会長】

防災士の自主防災組織の中での位置付けがわかる体制表や、防災訓練などの年間計画など、町内での活動が分かる資料があればよいと思う。理想的な取組をしている町内のものがあれば、例として示してみてもどうか。

【本多委員】

モデルケースがあればよいのだが、各町内での活動は様々だと思われる。各町内の独自のやり方があると思われるし、それをどうするかについては今後、分科会で話し合い、皆さんに分かりやすい方法で伝えられればよいと考える。

【吉田副会長】

具体的に防災士が町内でどんな活躍をしているか、知っておきたいと思う。

【本多委員】

町内独自で防災組織を立ち上げていて、実態は把握していない。だが、現役の消防団や消防団OB、防災士が組織の中でどう動いているかを、地域全体として方向性を定めているわけでもない。だからこそ、住民に統一した方向性を示すためにも防災士会春日支部を立ち上げるべきだと思う。

【渡部委員】

春日野町内会では、防災士は町内会の防災委員に任命され、手当が支給される。そして、上越市防災士会の年会費1,000円は町内会から支払われている。そのため歴代の町内会長によって違いはあるが、防災訓練の前に意見を聞いたりしている。

もう一点、春日区には防災士会支部がないが、春日区から2名幹事が選出されているので、先に相談しておいた方がスムーズではないかと思う。また上越市防災士会の大滝会長にも事前に挨拶しておいた方がよい。

【本多委員】

防災士のベテランの方については、よく知らなかった。渡部委員の言われるとおりである。分科会のメンバーと日程を決めて、先方と相談しながら話を進めたい。

【市川委員】

私も安全安心分科会に入っていて、指摘のあった点は充分承知している。既存の団体の意向を抜きには出来ないので、防災士会の会長や市民安全課の担当者と相談しながら進めていくつもりである。

【吉田 義昭委員】

どの町内も防災に対して何かやらなくては、と考えている。消防団OBや防災士を繋げるための構想を一緒に練らないか、と町内会に問題を投げかける。そういう仕掛けをすれば分かりやすい。具体的な組織の形を示すべきではないか。

【本多委員】

まず、防災士会春日支部を立ち上げることに絞って取り組む。その先に組織の構想等があれば、その後に検討していく。防災に関して話題が多岐にわたるため、いきなり議論を広げ過ぎない方がよいと思う。

【小林センター長】

私は事務局という立場で、分科会の意に沿うように準備を進めている。これまで春日区から防災士会に選出されている2名の方には、事前に分科会の審議状況を伝えてあるし、防災士会の大滝会長とも連絡を取り合い、分科会の取組に賛同いただいている。少しずつ事前調整を進めている。

課題解決に向けたアプローチは様々あり、地域協議会が先頭に立ち、事前調整から課題解決まで全て済ませる方法もあると思う。ただ防災に関しては、すべて一度に解決すべきものではないと思う。

大滝会長は、「防災士は一人では何もできない。仲間を集めて活動すべきである。そして町内会が連携を取ることで、ようやく活動が進む」と言われた。つまり防災士と町内会は、地域防災に関して協力関係を結ぶべきだが、仲介役が不在なのである。

地域協議会は防災士同士を結び付ける仲介役、そして町内会と結びつける仲介役を担う。それは市長の附属機関であり、地域の課題を解決する地域協議会の役割だと思う。

各町内の防災組織体制にまで干渉することは気を付けなくてはならない。

【渡部委員】

私の町内の防災体制表を参考にしてみてもどうか。上手くいっている方だと思う。体制表の使用にあたっては町内会長に許可を得なければならない。

支部を結成すると防災士会から情報が得やすい、また支部で企画し防災訓練ができるなど利点があるので、安全・安心分科会の取組には賛成である。

【太田会長】

渡部委員の発言のとおり、本田委員から春日野町内会長に連絡を取り、個人情報是非公開として防災組織体制表を利用してよいか聞いてみるかどうか。

次に福祉分科会の説明を求める。

【吉田 義昭委員】

- ・福祉分科会について、資料に基づき説明

【太田会長】

次に福祉分科会の説明に質疑を求める。

【本多委員】

私には「ふれあいコンサート」とか「ニュースポーツ」では、なかなか抽象的に思えるので、内容を絞り込んで、話していただけるとわかりやすいと思う。

【吉田 義昭委員】

春日野町内会の小山会長は、「春日野町内会だけでは、町内会全部まとめると意見がいろいろある。だから引っ張っていくことはできないが、もっと大きな組織として、春日区 19 町内の皆さんから応援いただいた中で大きく成長させたい」と言われた。そういうことで町内会長さんから協力願えないかと話があり、一緒になってやろうと合意して、このテーマを取り組んだ経緯がある。その点を理解いただき進めたいと思う。

【渡部委員】

町内会長の立場から考えたときに、町内会長連絡協議会がなぜシェアしなくてはいけないのか、今のままでは駄目なのか、と言われると思う。その答えだけは準備した方がいいと思う。今何か不具合があれば改善すればよいのであって、上手く運営しているならば、そのままと言われる気がする。

【吉田 義昭委員】

いきいき春日野の組織員は高齢化のため、運営が困難になりつつある。運営に当たっては、学校やPTA後援会等とのつながりが必要であるが、町内会長は様々な会合等に顔を出して、何か申し入れする際のパイプを持っている。人とのつながりが出来ている。そういうものを活用してほしいと思う。

【渡部委員】

予算を持っているところが運営しないといけませんが、町内会長連絡協議会といっても、資金を出すことは簡単じゃないと思う。お金の負担というより、運営委員が高齢化してきている等の理由を考えた方がよいと思う。

【本多委員】

金額の問題ではなくて、多くの方から賛同を得られる良い活動ならOKと思う。

【吉田 義昭委員】

要するに、活動に対する気持ちを理解していただいて春日地区の一つのイベントにしていただけないか、と提案するつもりである。

【吉田副会長】

いきいきふれ合いコンサートで結束していくのは大賛成である。

地域活動支援事業がなくなって、地域独自予算等で事業費がつながればよいが、実施主体を町内会長連絡協議会に任せるとすると、もう町内会長にはたくさんいろんな仕事があるのに、また仕事を増やすことは拒絶される可能性が非常に高い。コンサートの負担金は拒絶されることを考えて、ふれ合いコンサートをどうしていくか、悪いケ

ースで考えておく必要があると思う。

実行を継続することは大賛成だが、そのやり方はよく考えていかななくてはいけない。私には町内会長から回答を得ることも少し疑問がある。活動主体がどうあるべきかをこれから計画的に考えたらいいと思う。

そして費用全額を出していただくという計画ではないことを、誤解のないように説明していただきたい。

【谷委員】

町内会長連絡協議会へ移行するにあたって、費用全額を負担していただくのではなく、地域独自の予算を使うことを提案するつもりである。

【吉田副会長】

私が心配するのは、金額の問題より労力の問題の方である。

【太田会長】

高齢化により活動が難しくなるから町内会に協力をお願いする、では少し矛盾が生じてしまう。いきいき春日野は現体制で活動を継続していくとしてはどうか。

町内会長連絡協議会に賛同いただくには、協力いただきたい内容を具体的に説明する必要があるのではないか。要は町内会長連絡協議会に運営団体名が変わるのではなく、町内会にどういった形で協力をお願いしたいのかを具体的に話せばよいと思う。

【吉田 義昭委員】

私たちは活動を継続していくための人材を育てていきたいのである。具体的には、町内から一名ずつ出していただきたい。ただ地域協議会であるため、こういう考えでやっていただけないかという構想を説明するつもりである。

【太田会長】

3分科会から説明いただいた。何か全体を通して意見等あるか。

【吉田副会長】

最初に説明したとおり、観光分科会は、町内会長さんたちに何か決めてくださいといったお願いではない。現在の状況を報告するもので結論を求めるものではない。

他の分科会は町内会長に提案して回答をいただくようだが、それでよいのか。

【本多委員】

防災士会春日支部を結成することは町内会長からの許可を必要とするものではない。地域協議会の構想を町内会長に知っていただくことが目的である。

【吉田 義昭委員】

福祉分科会は、提案して答えをいただく内容になっている。資料に記述のある「地域の高齢者が小中学生、大学生と共に作るいきいきコンサートを春日区全体の事業としていただきたい」という問いかけに対して、12月20日の町内会長連絡協議会で意見交換いただいて、いずれはイエス・ノーの返答をいただきたいということである。その他は情報提供、PRという形だと思う。

【太田会長】

そのほか意見等あるか。

(発言なし)

町内会長との情報交換会で3分科会が発表してから、また今後どう進めていけばいいかを審議したいと思う。

以上で次第3 議題「(1) 自主的審議事項」の「(2) 各分科会からの報告内容について」を終了する。

次に次第3 議題「(2) その他」である。本日の議題の他、報告や確認すべき事項等について発言を求める。

(発言なし)

以上で次第3 議題「(2) その他」を終了する。

次に次第4「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・次回の協議会について説明

【太田会長】

— 日程調整 —

- ・次回の地域協議会：12月14（水）午後6時30分から 市民プラザ 第2会議室
- ・内容：(自主的審議事項) 各分科会の審議状況

その他、何かあるか。

(発言なし)

- ・会議の閉会を宣言

※閉会后、分科会を開催（流れ解散）

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。